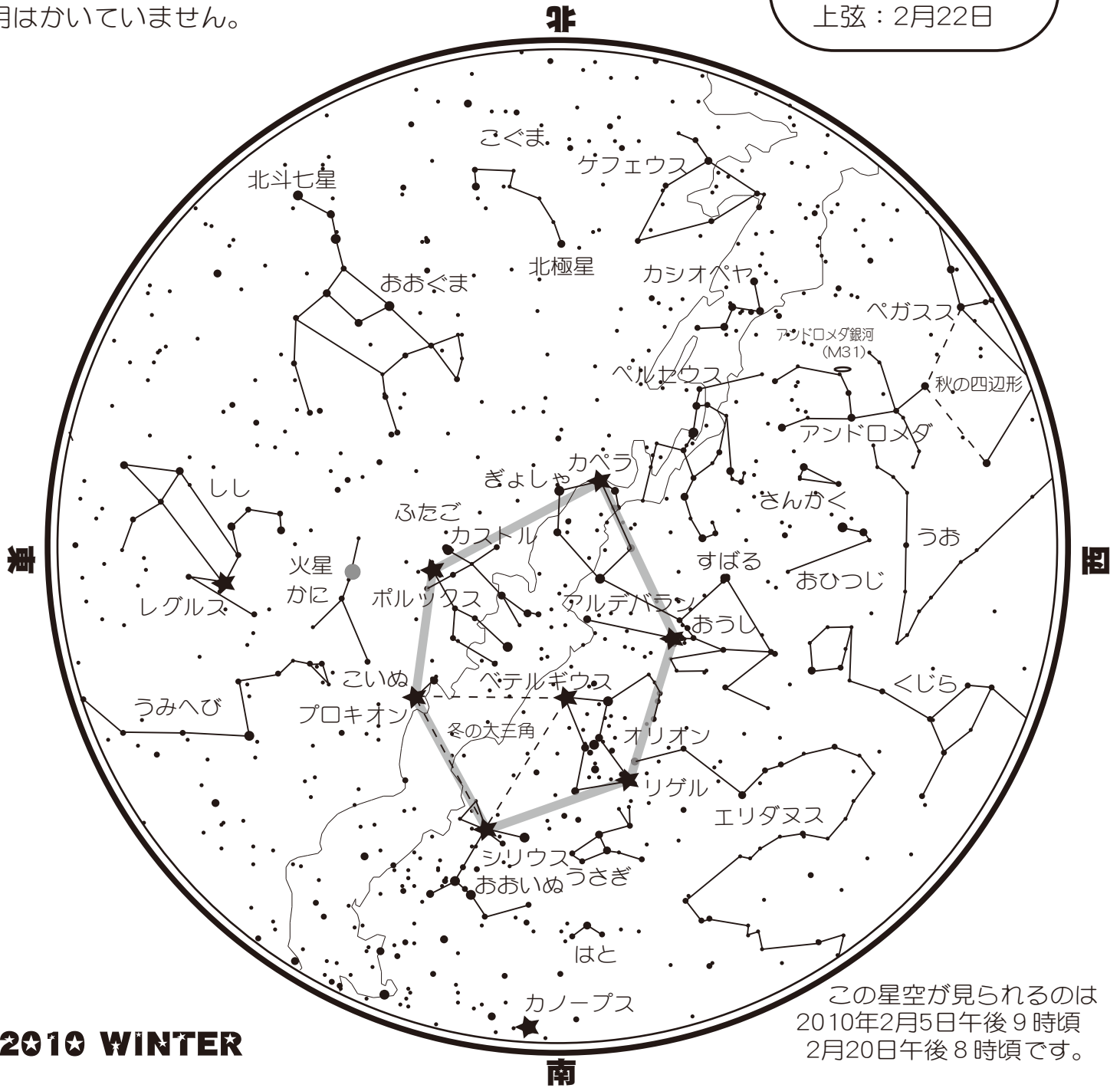


★ 姫路で見る2月前半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

下弦：2月6日
新月：2月14日
上弦：2月22日



この星空が見られるのは
2010年2月5日午後9時頃
2月20日午後8時頃です。

2010 WINTER

★冬のキラキラ星

冬の星座は明るい星を順番にたどって探しましょう。南の空に見える砂時計のような星並びは、狩人オリオンの姿です。その肩にはベテルギウス足首にリゲルが輝きます。オリオンの左側には狩りを手伝う2匹の犬がいます。おおいぬ座のシリウスとこいぬ座のプロキオン、オリオン座のベテルギウスを線で結んでできるのが『冬のダイヤモンド』です。冬のダイヤモンドから少し見上げると、ふたご座の弟ポルックスと兄のカストルの星があり、兄弟の体をたどることができます。頭の真上で輝くのは、ぎよしゃ座のカペラです。ぎよしゃ座の五角

形の星の並びから南西の空を見下ろすと、おうし座の目に当たるアルデバランが見つかります。暗い所に目が慣れたら、背中にあるすばる(プレアデス星団)も探してみましょう。

冬の星座の1等星をリゲル→シリウス→プロキオン→ポルックス→カペラ→アルデバランと順番にたどり『冬のダイヤモンド』を作ることにもできます。

すっかり暗くなった頃、東の空に赤く輝くのは火星です。太陽の周りを回る惑星たちは、少しずつ見える場所が変わります。星座の星と間違えないように探してみてください。